

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和2年11月13日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和2年10月28日（水） 13時30分～14時00分
開催場所	第3庁舎 4階 庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 北村教育政策部長、大熊教育政策部次長、成田教育総務課長 〔政策推進会議メンバー〕 尾崎総合行政部長、川幡総務部長、松永市長公室長、榎本人事課長、近藤財政課長、外立秘書政策課長 〔関係部課〕 中森都市整備部長、浅見公共施設マネジメント推進室長、加藤建築開発課長、福沢学校教育課長 (計13人)
欠席者職氏名	 (計 0人)
説明員職氏名	成田教育総務課長 (計 1人)
議 題	「志木市学校施設長寿命化計画」の策定について
結 果	指摘事項の修正を行い、教育委員会に諮ることとなった。
事務局職員職氏名	松田秘書政策課副課長、平間秘書政策課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

外立秘書政策課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<「志木市学校施設長寿命化計画」の策定について>

- ・成田教育総務課長より、「志木市学校施設長寿命化計画」の策定について概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

本市の学校施設は、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて建築されたものが多く、築年数が30年以上の施設は8割を超え、耐震化は施されているものの老朽化が進んでいる状況である。このような中、現有の学校施設を長期にわたって使用することにより、施設整備に係るコストを総合的に抑制するとともに、効果的・効率的に中長期的な視点によるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的として、「志木市学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）を策定するものである。

また、本計画は、「志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画）」を最上位計画とした公共施設等に関する分野別計画である「志木市公共施設等マネジメント戦略（平成27年8月策定）」に基づいて策定する学校施設に関する個別計画である。

なお、本計画は、学校施設の長寿命化を目的としており、今後到来することが予想される人口減少社会への対応や、小中一貫教育の推進などの新たな教育施策の実施等、必要に応じた統合等については、別途検討することとする。

メンバー：今後の児童・生徒数の推移は。

担当部課：国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の5歳から14歳までの人口は、今後20年間で200人程度減少することが予想されている。1校あたりの平均人数が470人であることから、本計画においては、人口減少による学校施設の総量削減は、現時点では考慮しない。

メンバー：本計画は、長寿命化を目的としているため、再配置計画とは別であることを記載した方がよい。

担当部課：修正する。

メンバー：今後のスケジュールは。

担当部課：指摘事項の修正を行ったのち、教育委員会に諮り、その後庁議に報告することを予定している。

○結論

指摘事項の修正を行い、教育委員会に諮ることとなった。

3 閉会

外立秘書政策課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。